

【重要用語】

分類

離弁花

合弁花

柱頭

子房

花柱

胚珠

やく

受粉

葉脈

網状脈

平行脈

主根

側根

ひげ根

双子葉類

単子葉類

裸子植物

被子植物

種子植物

シダ植物

コケ植物

1章 生物の観察と分類

p.6~21

共通点や相違点に注目して、生物をなかま分けすること。生物による共通点や相違点が見られる特徴を観点として選び、その観点に基づいて、基準を設定することで生物をなかま分けすることができる。▶ p.16

2章 植物の体の共通点と相違点

p.22~41

花弁が1枚1枚離れている花。▶ p.26

花弁が一つにくっついている花。▶ p.26

めしべの先端の部分。▶ p.27

めしべのほとんどの膨らんでいる部分。▶ p.27

柱頭と子房の間の部分。▶ p.27

子房の中にある小さな粒。▶ p.27

おしべの先端にある袋。▶ p.27

花粉が柱頭につくこと。花粉が柱頭についたあと、子房は果実となり、胚珠は種子となる。▶ p.28

葉に通る筋のようなもの。▶ p.29

網の目状に広がっている葉脈。▶ p.30

平行に並んでいる葉脈。▶ p.30

双子葉類の太い根。▶ p.30

双子葉類の主根から出ている細い根。▶ p.30

単子葉類の根もとから多数出ている細い根。▶ p.30

葉脈は網状脈で、根は主根と側根からなる植物。子葉は2枚ある。▶ p.31

葉脈が平行脈で、根はひげ根からなる植物。子葉は1枚ある。▶ p.31

胚珠がむき出しになっている植物。雄花には、花粉の入った花粉のうがある。

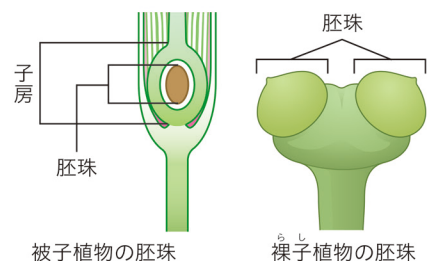
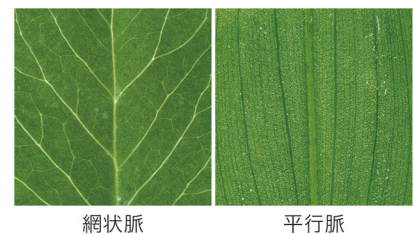
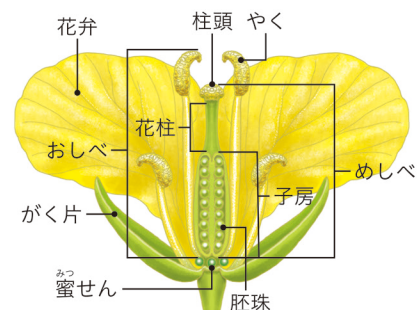
▶ p.34

胚珠が子房の中にある植物。▶ p.34

花を咲かせ、種子をつくって子孫を殖やす植物。▶ p.34

種子をつくらない植物のうち、葉、茎、根の区別がある植物。胞子のうの中にある胞子で子孫を殖やす。▶ p.36

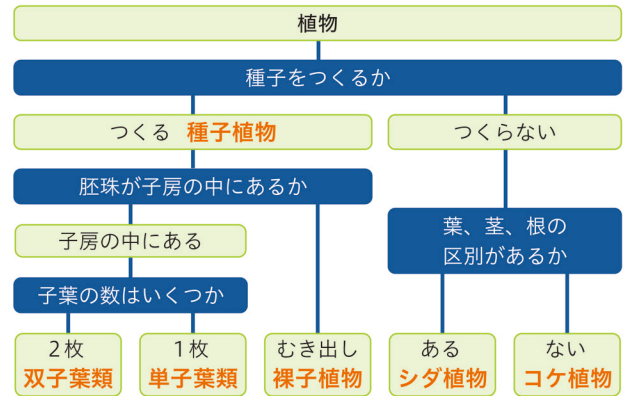
種子をつくらない植物のうち、葉、茎、根の区別がない植物。胞子のうの中にある胞子で子孫を殖やす。▶ p.36



植物の分類

それぞれの植物の体のつくりの特徴を手がかりにすると、右図のように、双子葉類、単子葉類、裸子植物、シダ植物、コケ植物に分類することができる。

p.39~40



3章 動物の体の共通点と相違点

p.42~63

脊椎動物

無脊椎動物

卵生

胎生

動物の分類

背骨をもつ動物。生活場所などの特徴に着目することで、魚類、両生類、は虫類、鳥類、哺乳類に分類できる。 p.44、49~51

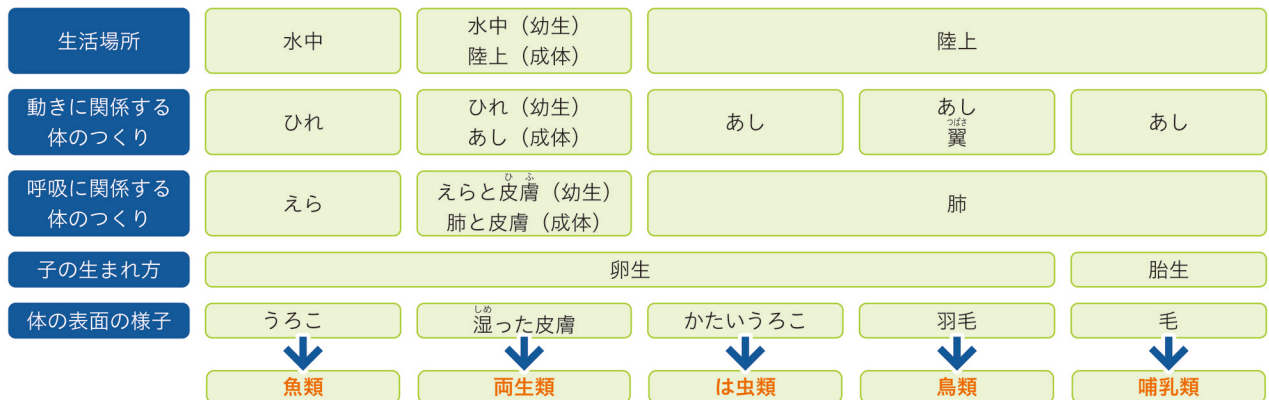
背骨をもたない動物。節のあるあしをもつかもたないか、あしがつく部分と数、外とう膜があるかないかといった特徴に着目することで、節足動物（昆虫類、甲殻類など）や軟体動物などに分類できる。 p.44、56、59~60

卵を産み、卵から子がかえる方法。 p.49

ある程度育った子を産む方法。 p.49

それぞれの動物の体のつくりの特徴を手がかりにすると、下の図のように分類することができる。 p.61~62

脊椎動物の分類



無脊椎動物の分類

